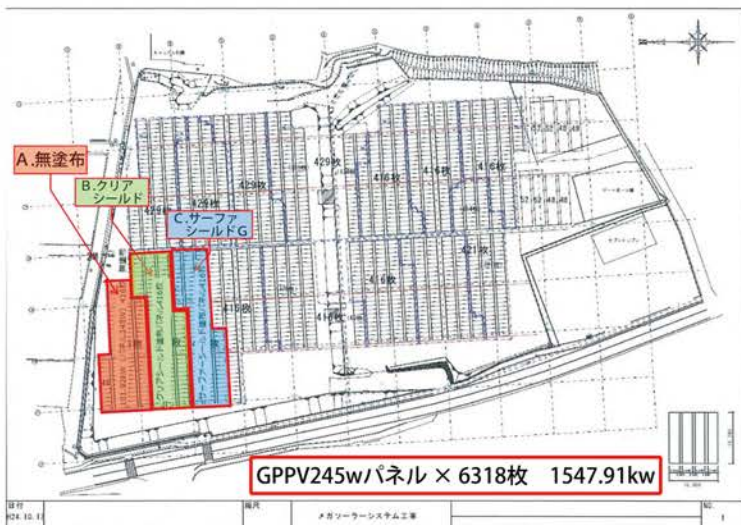




サーファシールドG 発電量試験最新データを公開!!



四国を拠点とする企業様の協力のもと、メガソーラー発電システム(GPPV 245wパネル × 6318枚 1547.91kw)でサーファシールドG塗布パネルの発電量を計測しました。全体の一部を3区画(各245kw × 416枚 101.92kw)にわけ、**A.無塗布パネル** **B.クリアシールド塗布パネル**(イギリスライテック・インターナショナル社製品) **C.サーファシールドG塗布パネル**(ギリシャナノフォス社製品)としました。パネル自体に発電量の差が無く、環境も公平である事を確認する為、上記3区画をそれぞれ無塗布の状態で**76日間**計測し、結果として、**A.1kwあたり平均3.91** **B.平均3.91kw** **C.平均3.93kw**であったため、**パネルの性能、環境条件は公平である**とし、塗布工程へうつりました。
左図) 計測が行われた発電所図面

パネル洗浄後、**B.クリアシールド**、**C.サーファシールドG**をそれぞれ塗布し、16日間計測を行いました。

【結果】塗布後16日間の発電量を計測した結果、**B.クリアシールド塗布パネル**は、**A.無塗布パネル**と比べて、1kwあたりの平均発電量で**0.01kwアップ**、**上昇率0.18%**にとどまりました。**C.サーファシールドG塗布パネル**は、A.に比べ1kwあたり**0.14kw発電量がアップ**し、**上昇率は3.32%**となりました。

実際に計測した発電量をもとに、メガソーラー全体(1547.91 kw)の年間推定発電量を算出。**サーファシールドGを塗布することで、年間約250万円多く利益が出る**と見込まれます。**20年間だと約5千万円の利益差**。この数字は、**C.サーファシールドG塗布パネルとA.無塗布パネルの16日間の発電量の差3.32%**をもとに算出されています。16日間という短い期間でこれほどの差が出たことから、時間がさらに経過し、無塗布パネルの汚れが蓄積すればするほど、その差は大きくなり、それに伴って発電量=収益の差も大きくなっていくのは**確実であると予想**することができます。

	A.無塗布パネル	B.クリアシールド塗布パネル	C.サーファシールドG塗布パネル
9月15日	303.50	314.40	315.40
9月16日	576.80	579.70	596.90
9月17日	581.50	583.00	600.20
9月18日	528.40	529.50	545.60
9月19日	547.70	548.80	565.20
9月20日	538.00	537.00	555.50
9月21日	516.70	516.10	533.30
9月22日	412.80	412.90	427.80
9月23日	421.00	420.30	435.40
9月24日	503.10	502.30	519.60
9月25日	306.10	306.30	316.90
9月26日	546.40	547.80	565.40
9月27日	508.40	507.70	523.40
9月28日	374.70	372.90	385.20
9月29日	130.90	130.70	135.80
9月30日	115.70	114.70	119.30
合計	6,911.70	6,924.10	7,140.90
1kwあたり/平均	4.24	4.25	4.38
上昇率	0%	0.18%	3.32%

	年間発電量 (62日間の発電量より算出)	20年間発電量
A.無塗布パネル(実発電)	75,288,262	1,505,765,243
C.サーファシールドG塗布パネル(実発電)	77,787,832	1,555,756,649
利益差	2,499,570	49,991,406

サーファシールドGは、ナノテクノロジーによって開発された、太陽光パネル用光触媒。自己洗浄効果が、パネル表面の有機汚れ細菌・カビ・汚染ガス・臭いを分解、保護、発電量維持につながります。また、光の反射を抑制し、透過率の向上に貢献します。

サーファシールドG

検索

